

# ハンドボール競技

- 1 期 日： 令和4年 7月22日（金）女子1回戦・女子2回戦・男子1回戦  
23日（土）男子1回戦・男子2回戦  
24日（日）男女準決勝・男女決勝
- 2 会 場： 大和町総合体育館
- 3 競技方法： 男子12校・女子9校によるトーナメント
- 4 競技規則： 2022年度（公財）日本ハンドボール協会規則による
  - (1) 競技方法
    - ①試合時間（25－10－25）
    - ②延長戦は決勝のみ第2延長までとし、その他は第1延長とする。（5－1－5）  
（延長で決しない場合は各チーム5名による7MTCを行う）
  - (2) 申込規定  
申込み後の登録変更については大会初日の監督会議までとする。
  - (3) 登録人員
    - ①1チーム19名
      - ・1チームの編成は監督1名、役員3名（当該校教職員・外部指導者1名以内）、選手15名以内の編成とし、選手15名とする。
      - ・監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員とする。  
（ここでいう部活動指導員は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者）
      - ・役員は当該校の職員と外部指導者1名までとする。
      - ・外部指導者は、校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者とする。ただし、中学校教員・校長・行政に勤務している教職員の外部指導者としてのベンチ入りは認めない。
    - ②チームは原則として単独校でのチーム編成とするが、宮城県中学校体育連盟「複数校合同チーム参加規定」により合同チームでのチーム編成を認める。

※大会当日に参加する生徒は、健康チェックシート（様式1－1）・学校同行者一覧表（1－2）を必ず試合当日の朝に実施し、本部へ提出すること。（3日間参加する場合も毎日提出する。）

  - (4) 使用球：（公財）日本ハンドボール協会検定2号球（男子）1号球（女子）・・・モルテン・ミカサ
  - (5) 審判員：（公財）日本ハンドボール協会公認審判員
  - (6) 表彰：男女とも優勝チームに優勝杯、1～3位のチームには賞状を授与
- 5 監督会議：7月22日（金） 午前8：30～
- 6 開会式・閉会式：行わない
- 7 その他
  - ①選手は中学生らしく、またスポーツマンらしくマナーを守り競技すること。  
（中学生にふさわしくない髪型・格好の選手はベンチ入りを認めない）  
（頭にヘアピン、腕にミサンガやヘアゴムをつけない。爪を切っておく。などのマナーを守る）
  - ②ユニフォームの確認は、第1試合のみ開始30分前に行う。以降、前試合ハーフタイムとする。
  - ③ユニフォームはCP・GKともに濃淡のはっきりした2着を用意することとし、ユニフォームの外に見える場合、パワーパンツの色は各チームで統一（同色）する。くつ下も同色とする。
  - ④松ヤニ・松ヤニスプレーの使用を禁止する。
  - ⑤大きな声を出しての応援はせず、原則拍手のみとする。
  - ⑥オフィシャルについては前試合の敗者チームが行う。
  - ⑦参加者は必ずマスクを着用する。ただし、競技中の選手および審判を除く。気象条件により、高温多湿となり、熱中症が心配される場合はマスクを外してもよい。その際は、お互いの距離を2m以上確保すること。
  - ⑧競技の前後や昼食前など、こまめに手洗いをする。飲みきれなかった飲料は自宅で処分する。

## 8 競技役員

会 長	・白石和也 (中 山)
副会長	・澁谷広司 (沖 野) ・高橋知美 (成 田)
大会委員長	◎今野大樹 (古 川)
総務委員長	◎加藤久美子 (七北田)
総務部	・小笠原優子 (中 田) ・佐藤奈菜 (中 田)
競技委員長	◎小角 聖 (五 橋)
競技部	<会場> ◎下田翔平 (大 和) ・佐藤 浩 (田 尻) ・住吉 元 (東仙台) ・増達 遼 (五 橋) ・草薨大輝 (柳 生) ・畠山貴之 (大 和) <競技> ◎跡部典人 (六 郷) ・成田優理 (中 田) ・首藤海斗 (高 砂) ・福田 遼 (古 川) ・高橋 匠 (東仙台) ・田中 優 (中 田)
記録・報道	◎大山真莉 (田 子) ・北村美和子 (成 田) ・中村育恵 (七北田)
接待	◎中村智恵美 (六 郷)
受付	◎遠藤志萌 (柳 生) ・森谷美郷 (東仙台) ・佐藤美帆 (岩 切) ・赤間芙美子 (田 尻) ・林 亜希子 (田 子) ・加藤 藍 (高 砂)
審判長	◎荒井啓貴 (成 田)
副審判長	・堀 俊介 (岩 切)
審判員	・宮城県ハンドボール協会 公認審判員